



ゼロカーボンシティとよはし

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界各地で深刻な自然災害が発生しています。また、日本各地においても、猛暑や集中豪雨、大型台風などが頻発し、その災害も激甚化し、気候変動問題は私達の生活に大きな影響を及ぼしています。

2015年に合意されたパリ協定では、「世界的な平均気温上昇を1.5℃に抑える努力を追求する」という目標が掲げられました。そして、これを達成するためには、2018年に公表されたIPCC（気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書において、「2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

今日、地球温暖化対策は、今を生きる私たちの社会的責務であり、本市においても、これまで以上に市民、事業者、行政が一丸となって再生可能エネルギーの地産地消や省エネルギー活動に取り組んでいくことが大切です。

未来を担う次世代に、この素晴らしい豊橋を引き継いでいくためにも、本市は、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティとよはし」を目指し、脱炭素社会の実現に向けて全力で取り組んでいくことを、本日ここに宣言します。

令和3年11月6日

豊橋市長 浅井 由崇